

2026年度

第1号①

4月7日発行

自分一人でできることをふやし はたらきたいを育てます

# さかたく進路だより



ご入学、ご進級おめでとうございます。

新学期が始まるにあたり、昨年度の高等部3年生の保護者の方と学年主任から、今年度さかたくで学ぶ児童生徒の保護者の皆様に向けてのメッセージをいただきました。3月に無事にさかたくから巣立っていった生徒たちに寄り添い、一緒に進路決定をした方々からの貴重なメッセージです。ぜひ参考にしてください。

○高等部3年生 学年主任より



未来へのバトンをつなぐ ～「自分でできる」が「働きたい」の種になる～

高等部3年生が進路決定をし、無事卒業していきました。これまで実習や面談を重ねてきて感じていることは、「働く力」の土台は、毎日の暮らしの中にあるということです。

「働きたい」という意欲を育てるために、今それぞれの学部で大切にしてほしいことをお伝えしたいと思います。少しでも参考にさせていただき、『今』や『これから』を考える機会にしていいただければ幸いです。

## 【小学部】 「自分でできた!」という自信の根っこを育てる

この時期は、スキルよりも「身の回りのことを自分でする習慣」と「達成感」が重要です。

### 身辺自立の徹底

・靴を揃える、着替える、カバンを片付ける。「手伝った方が早い」をぐっところえて、本人の出番を作りましょう。完璧でなくても「自分のことは自分でする」という意識が、将来の責任感につながります。

### 手伝いの習慣

・「ありがとう、助かったよ」と言われる経験が、「自分は役に立つ存在だ」という自己有用感(=働く意欲の原石)につながります。

### 「ありがとう」「お願いします」の習慣

・職場で最も求められるのは、実は作業スキル以上に「気持ちのよい挨拶」と「助けを求める力」です。

### 好きなことを広げる

・「これが好き!」というエネルギーは、将来の作業への集中力の源になります。

## 【中学部】 自己理解の深化と「選択」の練習

中学部は、高等部受検という大きな節目を迎える時期です。「自分の得意・苦手」を客観的に把握し、進路を「選ぶ」準備を始めましょう。

### 自分の「得意・苦手」を知る

・「これは好きだけど、これは時間がかかる」といった自分の特徴を、本人が言葉(または手段)で理解し、周囲に伝えられるようにしましょう。「自分の特徴を整理する」ことが、進路選択の「軸」になります。

### 「報告・連絡・相談」の実践

・「終わりました」「次は何をすればいいですか?」と伝える習慣を身に付けましょう。これは就労現場で求められるスキルです。

### 役割をもつ(成功体験の積み重ね)

・「自分はこれができる」という自信が、「働きたい」という意欲に直結します。家庭内でも小さな役割(ゴミ出し、配膳など)を固定し、責任感と達成感を育てていけるようにしましょう。

## 【高等部】 社会への移行と「自己決定」

卒業後の生活を見据え、学校での学びを「社会でどう役立てるか」につなげる段階です。

### 働く体力をつける

- ・1日5~6時間の作業や実習に耐えられる体力を養います。規則正しい生活習慣は、どんなスキルよりも重要視されます。

### 現場実習を通じたマッチング

- ・中学部段階で把握した「得意・苦手」を実際の職場で試します。「この環境なら自分らしく働ける」という実感を本人と共有します。

### 「自分で決めた」という納得感

- ・最終的な進路先を、本人が納得して選ぶプロセスを大切にします。これが、長く働き続けるための「粘り強さ」の源になります。

私たちは、学部を超えて一つのチームです。小学部で「意欲」を育て、中学部で「自分を知り」、高等部で「実践」する。この一連の流れが、お子様の自立へとつながります。今、お子様が取り組んでいる目の前の「ひとりでできた」は、数年後の「はたらく」に直結しています。共に、未来への架け橋を築いていきましょう。